

# ダイワ短期国際機関債ファンド (毎月分配型) – 成長の絆 – (年2回決算型) – 成長の絆 (年2回) –

&lt;5649&gt; &lt;2702&gt;

## (毎月分配型)追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：成長の絆

## (年2回決算型)追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：成長の絆 2

## (毎月分配型)

第103期	2023年8月21日決算	第106期	2023年11月21日決算
第104期	2023年9月21日決算	第107期	2023年12月21日決算
第105期	2023年10月23日決算	第108期	2024年1月22日決算

## (年2回決算型)

第17期 2024年1月22日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## (毎月分配型)

第108期末	基準価額	7,028円
	純資産総額	732百万円
第103期～第108期	騰落率	6.5%
	分配金合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## (年2回決算型)

第17期末	基準価額	11,378円
	純資産総額	10百万円
第17期	騰落率	6.5%
	分配金	230円


(注) 騰落率は分配金(税込み)を含めて計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

◇SKU0564920240122◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

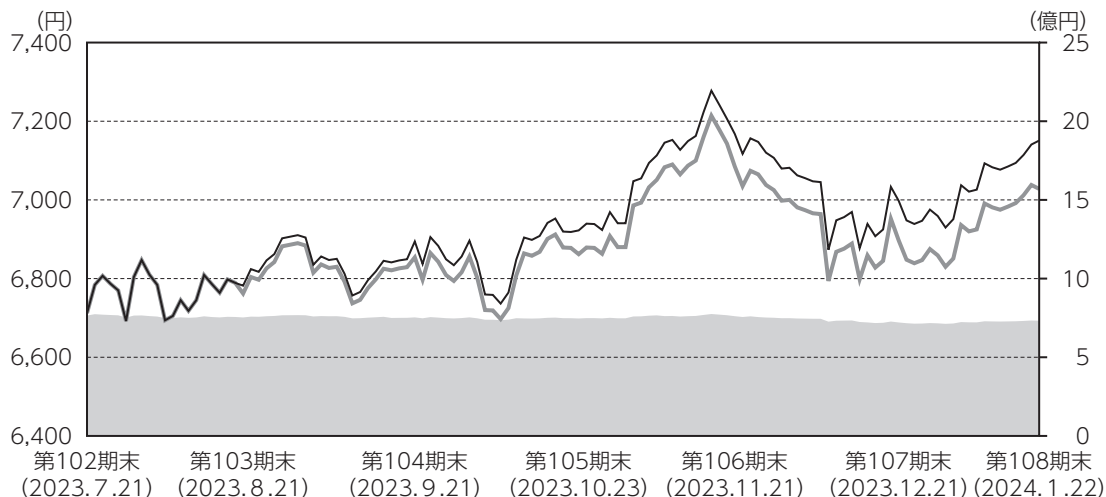
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択

（毎月分配型）－成長の絆－



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) ■ 純資産総額 (右軸)

(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第103期首：6,712円

第108期末：7,028円（既払分配金120円）

騰落率：6.5%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

新興国通貨建ての国際機関債に投資した結果、多くの投資対象通貨が対円で上昇（円安）したことや債券価格の上昇、利息収入などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第103期～第108期 (2023.7.22～2024.1.22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0.741%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,885円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.332)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.387)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.013	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	52	0.754	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

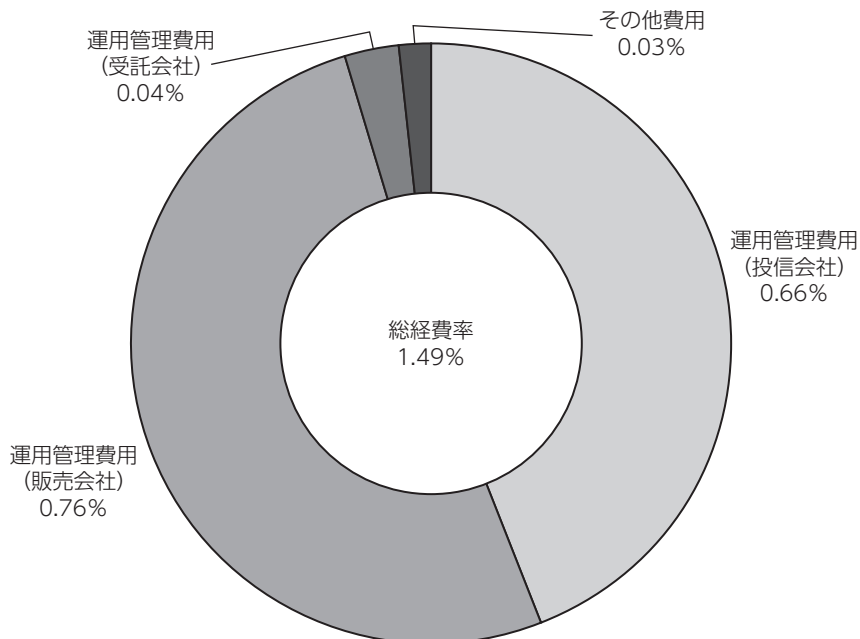
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.49%です。

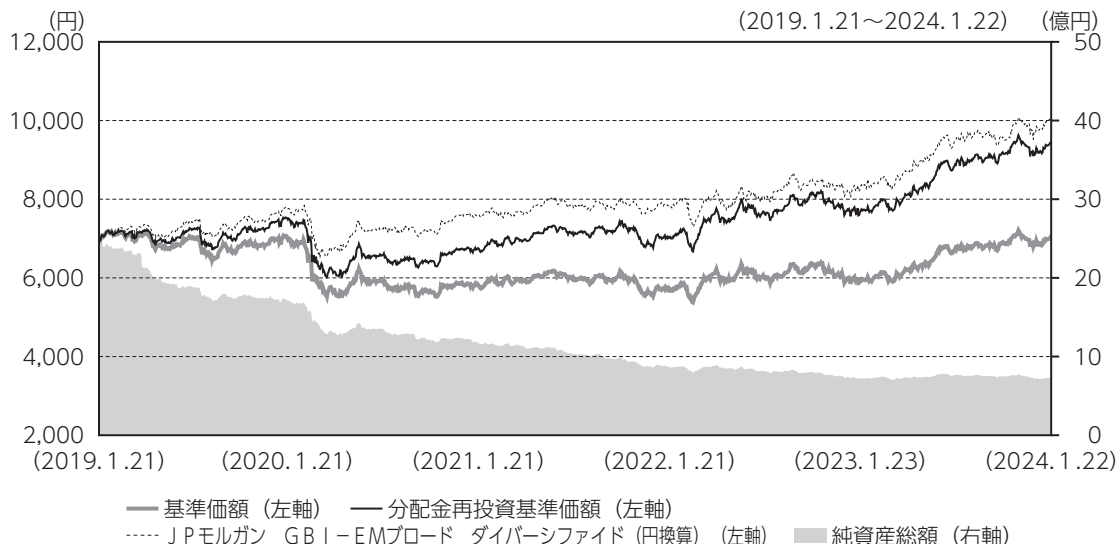


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年1月21日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はJ Pモルガン G B I - E Mブロード ダイバーシファイド (円換算) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年1月21日 期初	2020年1月21日 決算日	2021年1月21日 決算日	2022年1月21日 決算日	2023年1月23日 決算日	2024年1月22日 決算日
基準価額 (円)	7,044	7,016	5,815	5,690	5,913	7,028
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	480	470	360	300	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.8	△10.2	4.0	9.2	23.3
J Pモルガン G B I - E Mブロード ダイバーシファイド (円換算) 騰落率 (%)	—	10.6	△2.4	3.2	5.3	21.8
純資産総額 (百万円)	2,436	1,716	1,175	863	720	732

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) J Pモルガン G B I - E Mブロード ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023.7.22~2024.1.22)

### ■債券市況・為替相場

新興国債券市況は、各国インフレ率の減速やリスク選好度の高まりなどにより、新興国債券への選好が強まったことを受けて、多くの国で金利は低下（債券価格は上昇）しました。新興国為替相場は、米国の金融引き締め観測が後退したことなどが上昇要因となり、多くの新興国通貨は対円で上昇しました。

#### ・アジア地域

インドネシア・ルピアやインド・ルピーは、米国の金融引き締め観測が後退したことなどから、対円で上昇しました。

#### ・欧州地域

ポーランド・ズロチは、米国の金融引き締め観測が後退したことや、EU（欧州連合）からの補助金凍結の解除への期待などが上昇要因となり、対円で上昇しました。

#### ・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、中国の景気減速懸念などを背景に、対円で小幅に下落（円高）しました。

#### ・中南米地域

ブラジル・リアルやメキシコ・ペソは、米国の金融引き締め観測が後退したことなどが上昇要因となり、対円で上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2023.7.22~2024.1.22)

### ■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

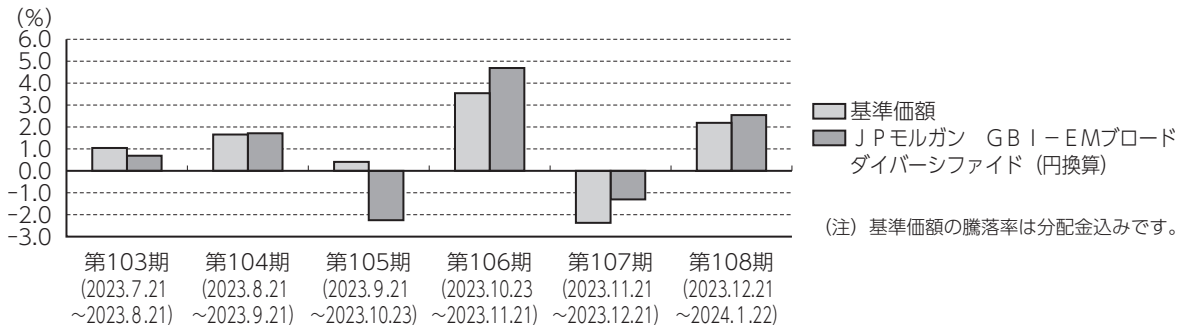
組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではポーランド・ズロチ、中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランド、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・リアルとし、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2023年7月22日 ～2023年8月21日	2023年8月22日 ～2023年9月21日	2023年9月22日 ～2023年10月21日	2023年10月24日 ～2023年11月21日	2023年11月22日 ～2023年12月21日	2023年12月22日 ～2024年1月21日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率（％）	0.29	0.29	0.29	0.28	0.29	0.28
当期の収益（円）	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	175	183	186	193	198	214

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 24.30円	✓ 27.28円	✓ 23.11円	✓ 27.05円	✓ 25.33円	✓ 35.84円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	38.63	38.73	38.83	38.93	39.03	39.14
(d) 分配準備積立金	132.87	137.09	144.28	147.30	154.26	159.49
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	195.82	203.11	206.23	213.29	218.63	234.49
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	175.82	183.11	186.23	193.29	198.63	214.49

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。





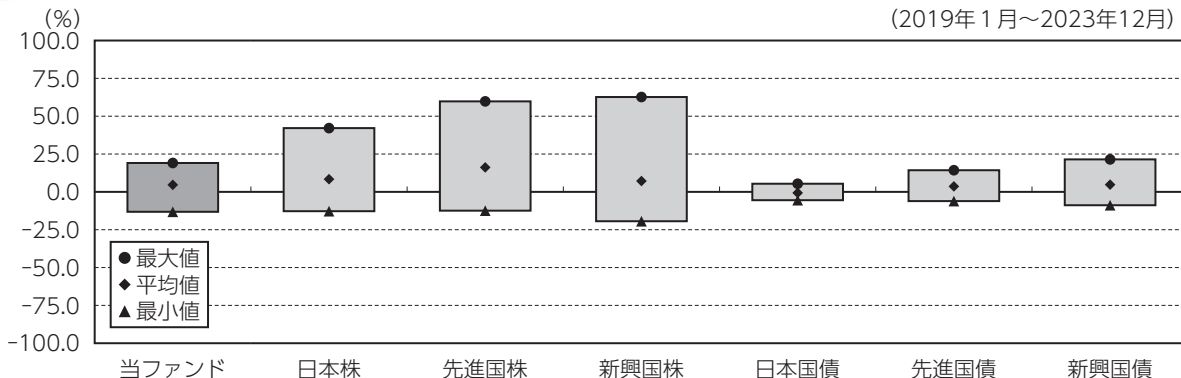
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2015年1月22日～2025年1月21日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ短期国際機関債マザーファンドの受益証券
	ダイワ短期国際機関債マザーファンド	新興国通貨建ての国際機関債
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資する債券は国際復興開発銀行（世界銀行）が発行する債券および取得時において同機関と同等以上の格付を有する債券とします。</p> <p>ロ. ポートフォリオの修正デュレーションは、2年以内とすることを基本とします。</p> <p>ハ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州地域、中東・アフリカ地域、アジア地域および中南米地域の4地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ニ. 地域ごとに、各国の金利水準、経済情勢、流動性等を勘案して複数通貨を選定することを基本とし、市場動向を勘案して配分します。なお、組入通貨は、適宜見直しを行ないます。</p> <p>ホ. 運用の効率化をはかるため、為替予約取引および直物為替先渡取引を行なう場合があります。</p> <p>※市場環境によっては、上記の地域配分とならない場合や地域ごとに複数通貨とならない場合があります。</p> <p>※投資対象通貨は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に選定します。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。</p>	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019年1月～2023年12月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.1	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	4.6	8.4	16.2	7.2	△0.7	3.6	4.8
最小値	△13.2	△12.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



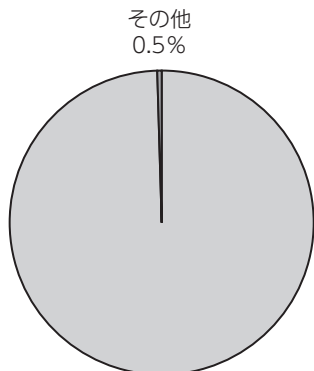
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド等

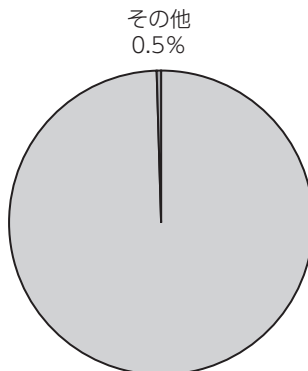
	比率
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	99.5%
その他	0.5

### 資産別配分



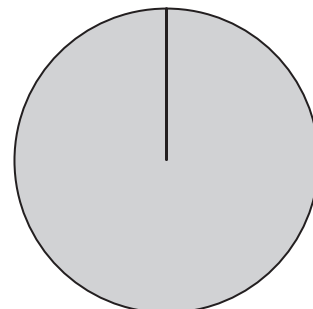
マザーファンド  
99.5%

### 国別配分



日本  
99.5%

### 通貨別配分



日本・円  
100.0%

(注1) 上記データは2024年1月22日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
	2023年8月21日	2023年9月21日	2023年10月23日	2023年11月21日	2023年12月21日	2024年1月22日
純資産総額	752,920,331円	753,382,385円	746,431,261円	760,845,337円	721,128,414円	732,449,126円
受益権総口数	1,113,503,031口	1,099,230,004口	1,087,783,480口	1,073,884,925口	1,045,555,857口	1,042,211,775口
1万口当り基準価額	6,762円	6,854円	6,862円	7,085円	6,897円	7,028円

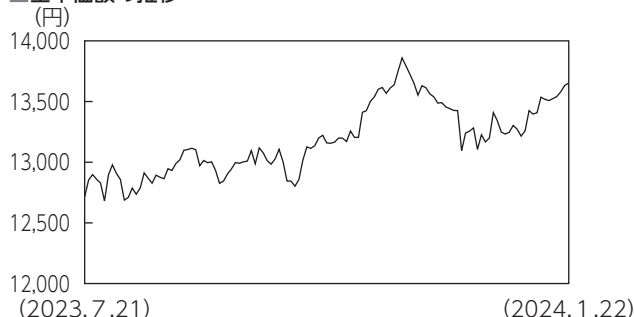
\* 当作成期間（第103期～第108期）中における追加設定元本額は4,327,939円、同解約元本額は101,902,022円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆ダイワ短期国際機関債マザーファンド（作成対象期間 2023年7月22日～2024年1月22日）

#### ■基準価額の推移



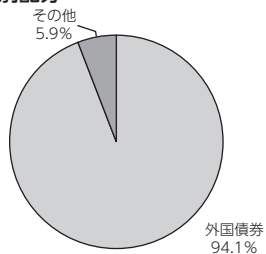
#### ■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合計	1

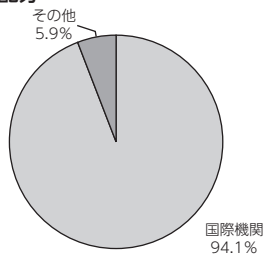
#### ■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
ASIAN DEVELOPMENT BANK 5.5% 2026/2/3	ポーランド・ズロチ	23.1%
EUROPEAN INVESTMENT BANK 8.5% 2024/9/17	南アフリカ・ランド	15.8
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT 7.25% 2024/3/15	インドネシア・ルピア	14.2
AFRICAN DEVELOPMENT BK. 5.1% 2025/11/17	南アフリカ・ランド	7.7
INTL. FIN. CORP. 6.3% 2024/11/25	インド・ルピー	7.5
INTL. FIN. CORP. 6.75% 2024/8/27	ブラジル・レアル	6.4
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT 6.75% 2024/2/4	ブラジル・レアル	5.7
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT 6.65% 2024/7/30	メキシコ・ペソ	5.2
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT 5.2% 2024/2/15	メキシコ・ペソ	3.9
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT 5.08% 2025/12/15	メキシコ・ペソ	2.7
組入銘柄数	12銘柄	

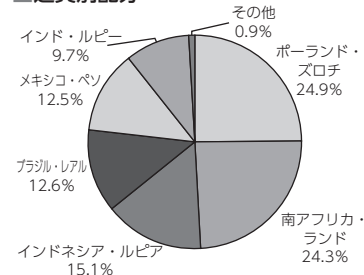
#### ■資産別配分



#### ■国別配分



#### ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

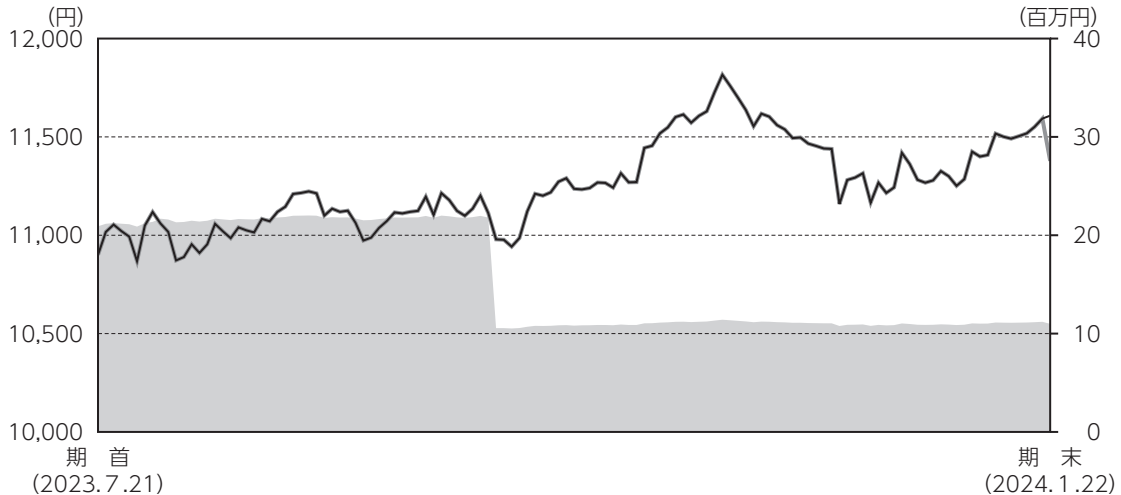
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

（年2回決算型）－成長の絆（年2回）－



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) ■ 純資産総額 (右軸)

(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,900円  
 期末：11,378円（分配金230円）  
 騰落率：6.5%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

新興国通貨建ての国際機関債に投資した結果、多くの投資対象通貨が対円で上昇（円安）したことや債券価格の上昇、利息収入などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.7.22~2024.1.22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	78円	0.694%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,258円です。
(投 信 会 社)	(35)	(0.311)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.362)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.020)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	79	0.706	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

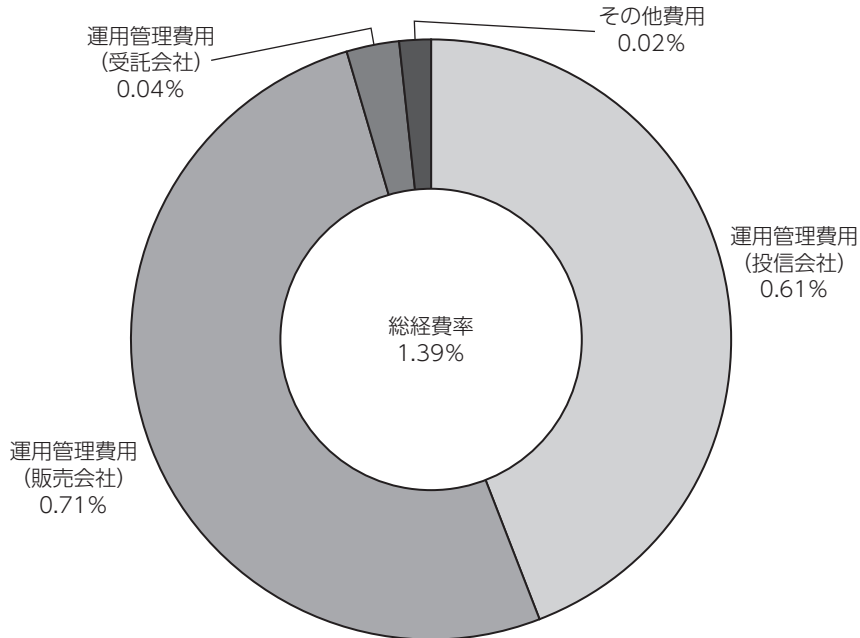
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。

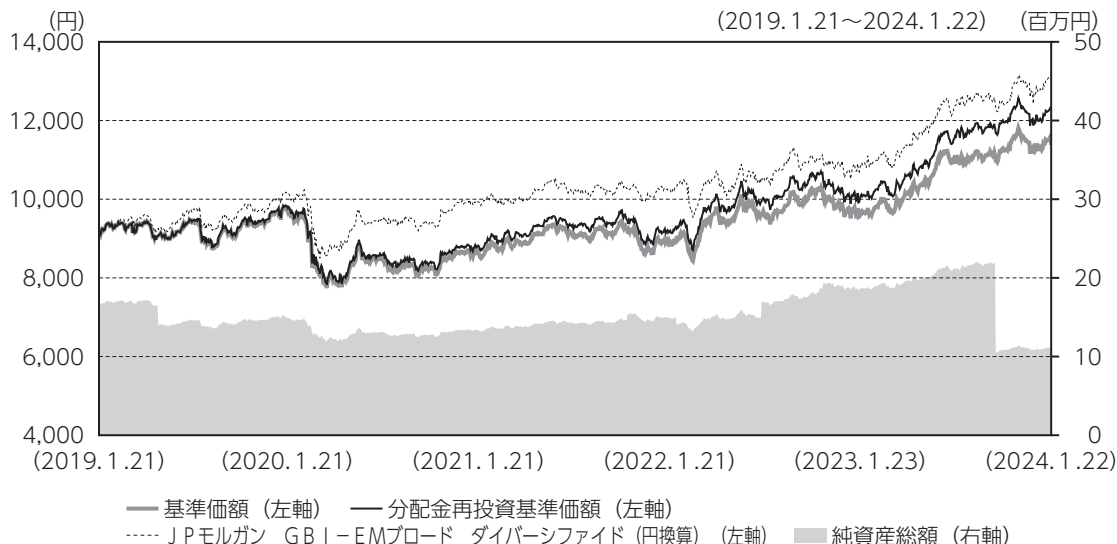


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年1月21日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はJ Pモルガン GBI-E Mブロード ダイバーシファイド（円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年1月21日 期初	2020年1月21日 決算日	2021年1月21日 決算日	2022年1月21日 決算日	2023年1月23日 決算日	2024年1月22日 決算日
基準価額 (円)	9,196	9,718	8,629	8,873	9,598	11,378
期間分配金合計（税込み） (円)	—	100	100	100	100	430
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.8	△10.2	4.0	9.3	23.2
J Pモルガン GBI-E Mブロード ダイバーシファイド（円換算）騰落率 (%)	—	10.6	△2.4	3.2	5.3	21.8
純資産総額 (百万円)	16	14	13	14	18	10

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) J Pモルガン GBI-E Mブロード ダイバーシファイド（円換算）は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン グ・マーケット ブロード ダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン グ・マーケット ブロード ダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。



## 投資環境について

(2023.7.22~2024.1.22)

### ■債券市況・為替相場

新興国債券市況は、各国インフレ率の減速やリスク選好度の高まりなどにより、新興国債券への選好が強まったことを受けて、多くの国で金利は低下（債券価格は上昇）しました。新興国為替相場は、米国の金融引き締め観測が後退したことなどが上昇要因となり、多くの新興国通貨は対円で上昇しました。

#### ・アジア地域

インドネシア・ルピアやインド・ルピーは、米国の金融引き締め観測が後退したことなどから、対円で上昇しました。

#### ・欧州地域

ポーランド・ズロチは、米国の金融引き締め観測が後退したことや、EU（欧州連合）からの補助金凍結の解除への期待などが上昇要因となり、対円で上昇しました。

#### ・中東・アフリカ地域

南アフリカ・ランドは、中国の景気減速懸念などを背景に、対円で小幅に下落（円高）しました。

#### ・中南米地域

ブラジル・レアルやメキシコ・ペソは、米国の金融引き締め観測が後退したことなどが上昇要因となり、対円で上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2023.7.22～2024.1.22)

### ■当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

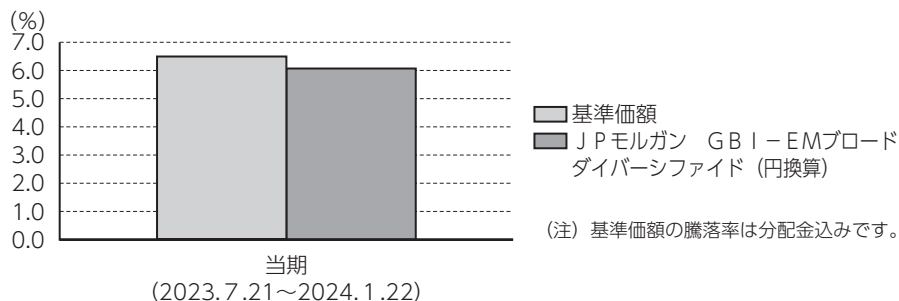
組入通貨は、アジア地域ではインド・ルピーとインドネシア・ルピア、欧州地域ではポーランド・ズロチ、中東・アフリカ地域では南アフリカ・ランド、中南米地域ではメキシコ・ペソとブラジル・リアルとし、各地域へおおむね均等になるように投資しました。

当作成期の債券ポートフォリオにつきましては、償還までの期間が短い国際機関債を中心に投資し、金利変動リスクを抑えた運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年7月22日 ～2024年1月22日	
<b>当期分配金（税込み）</b> (円)		<b>230</b>
対基準価額比率 (%)		1.98
当期の収益 (円)		230
当期の収益以外 (円)		－
翌期繰越分配対象額 (円)		2,973

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計画上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	247.82円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		1,068.32
(d) 分配準備積立金		1,886.91
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		3,203.05
(f) 分配金		230.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,973.06

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ短期国際機関債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ短期国際機関債マザーファンド

主として、新興国通貨建ての国際機関債に投資することにより、信用度の高いポートフォリオ構築を行います。また、金利変動リスクに対してはデュレーションを短期に維持することによって、為替変動リスクについては通貨の地域分散によって、リスクの抑制を図って運用を行ってまいります。



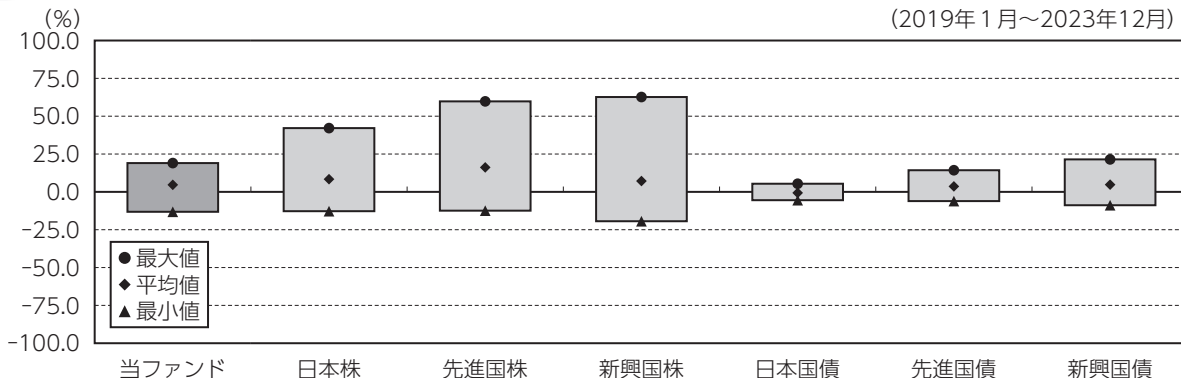
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2015年10月15日～2025年1月21日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ短期国際機関債マザーファンドの受益証券
	ダイワ短期国際機関債マザーファンド	新興国通貨建ての国際機関債
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、国際機関が発行する新興国通貨建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資する債券は国際復興開発銀行（世界銀行）が発行する債券および取得時において同機関と同等以上の格付を有する債券とします。</p> <p>ロ. ポートフォリオの修正デュレーションは、2年以内とすることを基本とします。</p> <p>ハ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州地域、中東・アフリカ地域、アジア地域および中南米地域の4地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ニ. 地域ごとに、各国の金利水準、経済情勢、流動性等を勘案して複数通貨を選定することを基本とし、市場動向を勘案して配分します。なお、組入通貨は、適宜見直しを行ないます。</p> <p>ホ. 運用の効率化をはかるため、為替予約取引および直物為替先渡取引を行なう場合があります。</p> <p>※市場環境によっては、上記の地域配分とならない場合や地域ごとに複数通貨とならない場合があります。</p> <p>※投資対象通貨は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロードの構成国を参考に選定します。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



# 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019年1月～2023年12月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.0	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	4.7	8.4	16.2	7.2	△0.7	3.6	4.8
最小値	△13.2	△12.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



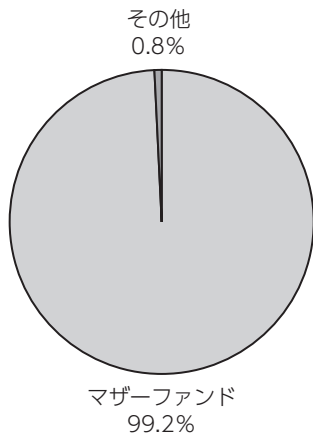
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

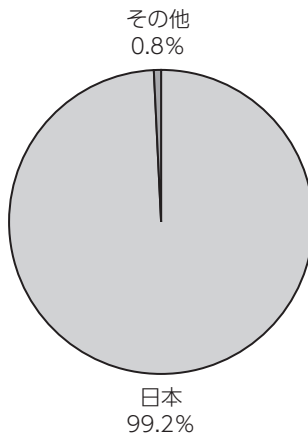
#### 組入ファンド等

	比率
ダイワ短期国際機関債マザーファンド	99.2%
その他	0.8%

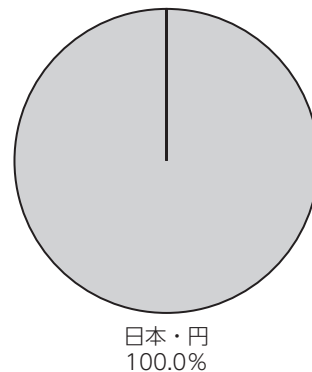
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年1月22日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

### 純資産等

項目	当期末
	2024年1月22日
純資産総額	10,990,930円
受益権総口数	9,659,482口
1万口当り基準価額	11,378円

\*当期中における追加設定元本額は474,778円、同解約元本額は10,000,000円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### 組入上位ファンドの概要

◆ダイワ短期国際機関債マザーファンド（作成対象期間 2023年7月22日～2024年1月22日）  
11ページをご参照ください。

# Memo

大和アセットマネジメント

---

Daiwa Asset Management